

様式1 令和2年度 山梨県立日川学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	文武両道の実践を軸に心身を練磨し、高い知性と教養、たくましい身体と精神力、豊かな感性をあわせ持つ生徒を育成する。
-----------	--

山梨県立日川学校校長 松坂 浩一

本年度の重点目標	1. 質の高い文武両道を求め、自ら学び、考え、行動する生徒の育成に努める。
	2. 個性や進路希望に応じた指導を行い、体系的なキャリア教育を推進する。
	3. 規律や責任を重んじ、しなやかな心の育成に努める。
	4. 安全で信頼される学校づくりの推進に努める。

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価			年度末評価(令和3年2月15日現在)			
番号	評価項目	本年度の重点目標 具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
				本年度の重点目標		
1	質の高い文武両道を求め、自ら学び、考え、行動する生徒の育成に努める。	<p>年次ごと家庭学習習慣の向上に努め、4時間学習・2時間練習を確立する。</p> <p>学習目標の明確化及び指導と評価の一体化に努め、ICTの積極活用と、主体的対話的で深い学びの推進により、授業力の向上を図る。</p> <p>「Classi」や「サタデーサプリ」、「きずなの日」を活用し、自主的な学習活動を推奨して、部活動との両立を図る。</p> <p>効率的な指導や効率的な活動の研究により、個々の得意分野の伸長を図る。</p>	<p>授業アンケート実施 学習記録の電子化 下校時間の徹底</p> <p>面談、補習の実施 大型TVの活用 職員研修の実施</p> <p>やまなしキャリアパス ポート及びClassiの活用 学力分析会等の活用</p> <p>授業公開日の設定 相互授業見学 ICT活用研修会の実施</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の目標時間を達成している生徒は6割弱にとどまる。</li> <li>・予習・復習、計画的な学習など自分の主体的な学習への取り組みを肯定的に評価できる生徒は約3/4である。また、年度当初の休校期間でClassiやYou Tubeを用いた授業や課題提示を行い、生徒の学力維持に努めた。</li> <li>・アフィリエイトを通じて肯定的な意見を持って参加している生徒が約8割。</li> <li>・教員のClassiやICT機器の活用が進み、Classiを活用できている生徒が約7割。</li> <li>・総体や関東大会、インターハイ、全国総文祭等が開催されない中、ラグビー部が全国大会(花園)に出場した。</li> </ul>	
2	個性や進路希望に応じた指導を行い、体系的なキャリア教育を推進する。	<p>SSHに対応した全体指導と、各クラスに応じた指導の工夫に努める。</p> <p>多様な進路希望に応じた情報発信と意識の向上を図り、大学との連携を通じ、個々の目標実現に向け力強いサポートを行う。</p> <p>18歳選挙権に対応した主権者教育を推進する。</p>	<p>SSHと連携したカリキュラムマネジメント ICT活用による個別指導</p> <p>山梨大学との連携事業 進路講演会の設定 進路情報の提示</p> <p>LHR、生徒会活動を通じた意見交換</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SSHの研究と連携した「峡東地域の知の拠点」を目指す取組は、生徒の主体的な学習意欲につながっている。</li> <li>・他地域に赴く様々なSSHの活動が、コロナ禍で実施できない中、KLB校(英国語学研修先)と新たな取り組みに着手できた。</li> <li>・今年度から取り組んでいる「キャリアパスポート」に意欲的に取り組んでいる生徒が約9割弱おり、自分の進路希望に応じた進路情報を収集しようとしている。</li> <li>・生徒会選挙時の選挙周知活動により、投票行動に繋がった。</li> </ul>	
3	規律や責任を重んじ、しなやかな心の育成に努める。	<p>HR活動や生徒会活動を通じて道徳教育を推進する。</p> <p>地域や関係団体と連携を図り、社会活動を積極的に行う。</p> <p>教育相談体制を充実させ個々の生徒の理解を深め、適切な支援に努める。</p>	<p>道徳教育の指導計画作成及び共通理解 家庭と連携した取組の充実</p> <p>地域行事・ボランティア活動への参加 異校種間交流の推進</p> <p>SCの積極的な活用 定期的な生徒情報交換会実施</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統行事である新入生オリエンテーションや強歩大会が実施できなかったことで、生徒の母校愛を育む機会が失われた。</li> <li>・コロナ禍でボランティアや地域行事への参加ができないなか、生徒会を中心にマスク作りを上げた。</li> <li>・豊かな心の育成や規範意識を高める教育について、保護者の評価が8割以上に戻った。</li> </ul>	
4	安全で信頼される学校づくりの推進に努める。	<p>広報誌やホームページ、学校ブログ等を活用して積極的な情報発信に努める。</p> <p>PTA活動の様々な機会を生かして学校との連携を推進する。</p> <p>災害や事故に遭遇した際の危機対応能力や危機管理能力を育成する。</p>	<p>広報誌、SSH通信の発行 定期的なHP更新</p> <p>広報活動及びPTAとの連絡の徹底</p> <p>避難防災計画の可視化 安全管理体制の徹底 保護者への情報発信</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALを意識した授業は、そのまま道徳教育や生き方あり方を考える機会となる。今後も主体的対話的な授業を全校体制で推進していく。</li> <li>・スマホの使い方やいじめ、DV等の社会的な課題について、生徒が主体的に考えられる教育を推進する。</li> <li>・学校と保護者が連携し、「人を思いやること」「規律と責任を重んじること」の重要性を徹底していく。</li> </ul>	

学校関係者評価	
実施日(令和3年2月18日)	
評価	意見・要望等
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方も生徒も理念をもとに努力されていると思う。</li> <li>・コロナ禍のなかで、先生方が大変ご苦労しながら乗り切っておられることを実感しています。何よりも授業を疎かにしないようホームステイ中の生徒に何をさせるのか、いつもどうやり方を工夫されたり、慣れないパソコンと格闘してたりする先生もいらっしやう。本当にご苦労様でした。</li> <li>・時代の流れがあるので、変わらなければならない所もあると思うが、他校との差別化という面においても日川高校らしい伝統は残したほうが良い。受験生の人気も高いほうだと思うので、より魅力的な学校にしてほしい。受験生に生きる力が結果的に社会貢献につながるの、向上心を持って努力していくように教育してほしい。</li> <li>・考え、工夫する力と気力・体力はそ両方がなければ社会人として活躍していけないと思うので、10代の多感の時期に文武両道を志すことは非常に重要であると考えます。加えて、自身の限界を超える行事を経験することが、普通の高校では味わえない日川の特長性だと思います。得手不得手はともかく、目的を明確にしてその達成のために計画・実行・反省・次の計画の繰り返しには健全な体と考える力が必要だと思います。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で、SSHや様々な行事が思うようにできなかったり、変更されたりする中、例年通りでないため、個人で受け止め方が異なる結果となったことが、アンケートから読み取れます。そうしたなかで新しい発見を今後にも生かしていくことが大切だと思います。生徒にとっての3年間は一生涯に生かす時間であり、「やっぱり日川だな」という時間が、その後の人生で大きな価値を生み、そこに想いが生まれるのではないのでしょうか。</li> <li>・日々のコミュニケーションと小さな変化を見逃さない雰囲気を持つことや、所謂「同じ釜の飯を食うような気持ちの醸成が大切ではないでしょうか。社会で生きていくためには置かれた環境でとにかく頑張っておくことが一番大切だと考えられています。ポジティブな考え方や役割として期待される事や自分にとっての明確な目標を定め、能動的に行動していけば、周囲で困っていることや悩みを聞いてあげられる視点が備わっていると思います。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は歴史的大災害が世界的規模で発生し、他の年度と単純に比較することはまったく意味をなさないように思います。そうした環境のなかで、例年にも増して生徒の心をなやませた健康管理に尽力されたことは感服いたしました。</li> <li>・いじめ問題だけでなく、生きるのに道徳心は不可欠なのでしっかり教育してほしい。</li> <li>・親身になって指導して下さる先生が多いと感じているので、これからも様々な場面でより良い教育を続けていただきたい。高校時代は一生のうちでも将来に影響する大切な時期だと思います。</li> <li>・高校を卒業すれば、どのような高校生活だったか、幾度となく振り返ると思います。厳しかったが楽しかったというのが自分の思い出です。本気で体当たりをしてもらった3年間でした。生徒・先生・校風が一体となり、日川らしさを感じられる教育活動を継続していただければと思います。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページが充実しており、とても良い雰囲気と具体的な様子が伝わってきます。</li> <li>・町田中區の回覧板で強歩大会や学園祭のお知らせを目にする機会がありました。ネット社会とはいえ、年齢層によっては情報の入手方法は多様なので、伝えたい年代に伝わる手段の選択が肝要だと思います。</li> <li>・フードドライブ等もチラシ配布の宣伝で規模が広がられるのではないのでしょうか。</li> <li>・地域との交流、PTAや地域団体との連携は必要なので、コロナ感染対策防止に十分注意したうえで、積極的に行ってほしい。</li> <li>・日川高校を身近に感じさせる手段は離れ合う時間を作ることが一番だと思います。日川小に通う息子が、高校生に声をかけてもらったり、運動や通学を通じて何かできたりすれば、あこがれを抱くかと思います。</li> </ul>

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。  
 (2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。